

## 告 辞

本日ここに、栗原沼津市長、遠藤長泉町長をはじめ多数のご来賓の皆さま、保護者の皆さま、および関係者にご列席いただき、沼津工業高等専門学校 平成27年度卒業証書・修了証書授与式を挙行できますのは、沼津高専関係者にとってこの上ない喜びであります。

184名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。24名の専攻科修了生の皆さん、修了おめでとう。

高等専門学校の第一期校として沼津高専は昭和37年に創立され、これまでに本科、専攻科を合わせて8,907名の卒業生・修了生を輩出してきました。既に卒業・修了した先輩方は、社会の第一線で活躍されています。本日皆さんはその仲間入りをするようになりました。

本科を卒業される皆さんの内、約半分の方は企業に就職され、技術者として活躍されるでしょう。5年間の一貫した専門教育により、本科を卒業する皆さんは既に技術者としての基礎的な能力を身に付けられています。専門領域での実力は、大学卒業生を凌ぐものとして産業界から高く評価されています。皆さんへの、20倍を超える企業からの求人倍率が、産業界からの期待を表しています。

しかし技術者の中で、高専卒という学歴は高くはありません。一緒に働く仲間の多くは大学卒や修士修了といった、年齢も学歴も上の方々が多いでしょう。そのような中で、時には学歴の差に劣等感を持つことがあるかもしれません。しかし今や大手と言われる有名企業でも、倒産する時代です。出身校や学歴で差をつけるような余裕のある企業は、皆無なのです。決して年齢や学歴で卑屈になることはありません。

技術者として生きて行く上で大事なもの、頼りになるものは、皆さん自身が身につけた実力、技術力です。本校で学び、身につけた実力や技術力は、自らの自信の源であり、皆さん自身の一生の財産でもあります。仕事を通じて、身につけた実力に更に磨きをかけ、社会に役立ち、社会から必要とされる技術者となって、ものづくり立国である日本の産業界を引っ張っていただきたいと願っています。

また本科を卒業される半分の方は本校の専攻科や大学に進学、編入学して、勉学を続けられます。皆さんは、専攻科や学部を修了、もしくは卒業すると、22歳で社会に出て行くことになります。修士課程まで修了されると24歳、そして博士課程を修了すると27歳になります。もはや若年とは言えなくなりますが、歳を重ねた分以上の実力を身につけることができれば、何の問題もありません。新たな環境で、これまで以上に勉学に励み、常に自らを高める努力を怠らないで欲しいと思います。そして高い学歴を身につけても、沼津高専で学んだことが基礎になっていることを忘れないで欲しいと思います。より高度

な知識、技術を身につけて、社会に貢献して欲しいと願っています。

専攻科を修了された皆さん、おめでとうございます。皆さんは沼津高専のキャンパスで7年間の長きに渡って過ごされたこととなります。貴方たちは沼津高専の教育の影響を最も受けています。沼津高専の教育の結果そのものだと言えるでしょう。皆さんのこれからの活躍が、沼津高専の評価、ひいてはこれから巣立って行く後輩の評価に大きな影響を与えます。その自覚を胸に、就職先や進学先で大いに活躍して欲しいと願っています。

昨今は株価や為替が乱高下し、世界経済の先行きが不安視されています。経済の専門家でも先が読みにくい変化の時代を迎えています。大手・一流と言われる企業でも倒産するかもしれない時代です。その中で技術者を取り巻く環境も激変しています。そのような変化の時代に、頼りになるのは、やはり身につけた実力であり、技術力です。沼津高専で身につけた実力や技術力は、どこでも通用します。自らの力を信じて、歩んで行って下さい。

皆さんは今、人生の最も輝いている時期にいます。その大事な時期を過ごしている皆さんの成長のお手伝いできたことを、私たちは誇りに思っています。若い皆さんには、無限の可能性があります。今持っている大きな可能性を、どれだけ活かすことができるかは、皆さん自身の努力にかかっています。時間は決して戻せません。一度きりの人生です。精一杯努力して、自らの可能性を存分に活かして下さい。

教え子が自分を超える、教師にとってこれ以上の喜びはありません。沼津高専の関係者は、皆さんが卒業・修了後も成長を続け、やがて沼津高専で指導を受けた先生に追いつき、そして超えてくれることを楽しみにしています。沼津高専を卒業、専攻科を修了される皆さんが、これからも努力を続け、成長を続けられ、活躍されることを期待して、私の告辞とします。

平成28年3月16日

独立行政法人国立高等専門学校機構

沼津工業高等専門学校長 藤本 晶